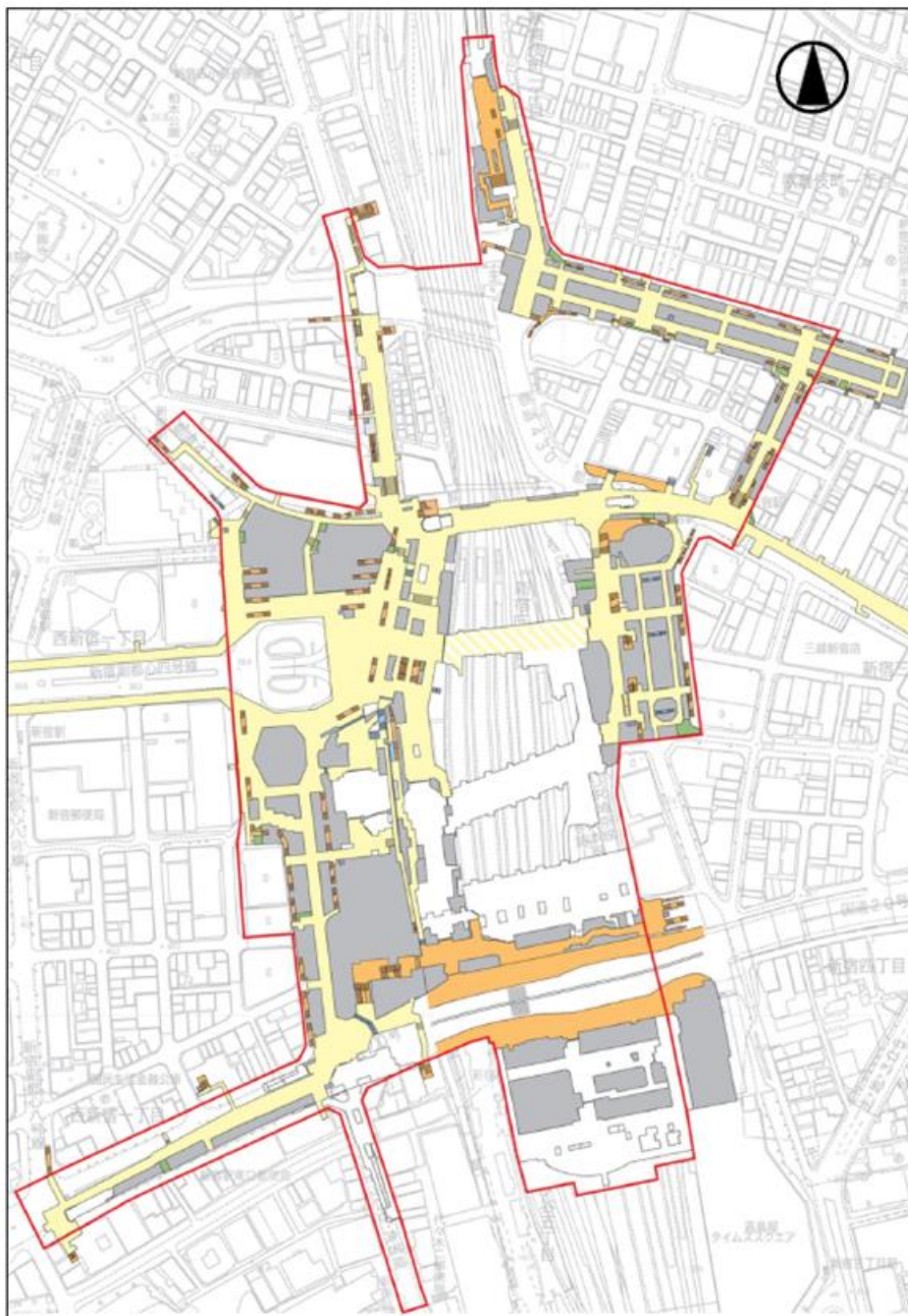


新宿ターミナル協議会の取組総括報告

■新宿ターミナル協議会概要

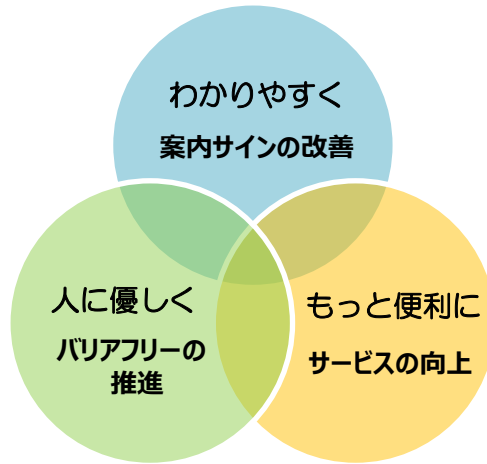
新宿駅及びその周辺部を対象として、利用者本位のターミナルの実現に向け、多様な関係者が連携して利便性の向上に取り組むことを目的として、平成 27 年 6 月に発足

■対象範囲



■活動コンセプト

『わかりやすく、人に優しく、もっと便利なターミナル』



■取組経緯

- 平成27年度 新宿ターミナル協議会設立
- 平成28年度 新宿ターミナル基本ルール策定
- 平成29年度 整備計画策定
- 平成29年度 整備着手
- 令和元年度 案内サインの効果検証調査
- 令和2年度 東西自由通路開通、新宿ターミナル基本ルール改訂
- 令和3年度 整備完了、利用実態調査、取組総括

■取組内容

指示サインの整備

※日英二言語表記

(整備前)

↓

(整備後)

Keio New Line

図解サインの整備

(整備前)

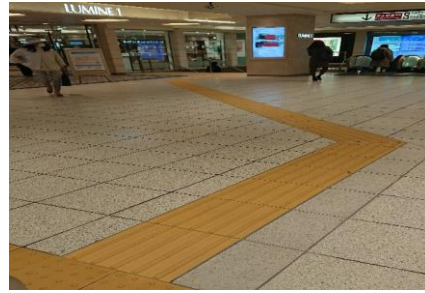


(整備後)



バリアフリー施設の整備

(点字ブロックの整備)



(新規 EV の設置)



※EV 本体にも
二言語で案内



新宿ターミナルマップの配布



- 日英中韓の四言語表記のマップを作成・配布
- ・日英版 平成 29 年 9 月～
- ・中韓版 平成 31 年 8 月～

その他、配付用マップに接続する QR コードを各図解サインに設置

■新宿ターミナル協議会の取組総括

新宿ターミナル協議会は、東京 2020 大会開催時とその先も見据え、誰もがわかりやすく使いやすいターミナルの実現を目指し、関係者が一体となって案内サインの改善、バリアフリーの推進、サービスの向上に取り組み、当初の目的を果たした。